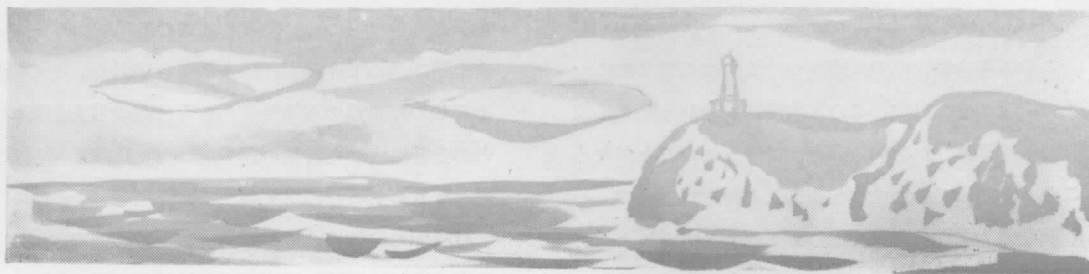


8月



会報

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA



第211回例会 1963.8.13 (火) 曇

例会場 鶴岡市一日市町 ひ さ ご や (707番)

事務所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

次回例会予定

- 8月20日 (火) 卓話 金峯山と信仰について 松浦重雄氏
- 8月27日 (火) 1日講習会に出席して 参加会員

○卓話 羽黒山の精進料理 草刈三郎氏

○出席報告

本日の出席者	46名	欠席者	長谷川君、海東君、金井(勝)君、菅原君	高橋君、渡部君、岡崎君
出席率	85.42%			
前回の出席者	95.83%	メ	金井(勝)君	
修正出席数	45名	ク		
修正出席率	97.92%	ア		(山形西R.C)
		ツ		
		ブ		

○司会 池内会長

○ソング 奉仕の理想 リーダー 広瀬君

○ゲスト 自然公園指導員 草刈三郎氏

○ピジター

- 栗本清次君 (近江八幡R.C)
- 庄司俊治君 (天童R.C)
- 佐藤勤君 (酒田R.C)
- 渡辺龍郎君 (酒田R.C)

○連絡事項

○会員拡大の件について

当クラブの会員拡大については職業分類委員会において既に未充填部門の調査も出来ておりますが、来る16日に秋田市において行われる1日講習会に出席してそこで充分勉強し、更に理事会にかけてから次回例会に報告する予定であります。

○1日講習会への出席

8月16日秋田市においてロータリー情報及び拡大の1日地区講習会が開かれますが、当クラブよりは池内会長を始めロータリー情報委員長の広瀬君、職業分類委員長の大野君、会報委員長の石黒君の4名が出席義務者となつて居ります。

○卓話 羽黒山の精進料理

草刈三郎氏

羽黒山の齋館で食べさせてくれる精進料理は、修験者山伏の食生活の長い歴史を背景としたものであります。

今の羽黒山伏達は、農業やいろいろの職業について、私達と同じような生活をしてはいますが、明治の初めまでは厳格な精進修業生活をしていたのです。しかも山上清僧といわれる山伏達は、妻をめとらず、魚肉を食わない精進生活を何百年間ものあいだおこなってきたのであります。

このような長い年月にわたつて研究伝承されてきた

精進料理には、きつとすばらしい山伏料理があつたものと思われます。

この山伏料理の1つに筧酒(おいざけ)料理というものがありました。

この料理は46枚の皿に盛りつけるもので量2枚に一倍いに並ぶそうです。この筧酒料理は今から約40年位前に1度調理されたあと、今まで作られたことがなくこのままにしておきますと昔話しの語り草だけで、その調理方法も忘れさられてしまうのでないでしょうか

しかし幸いに40年前に調理したときの手文が残されており、この時料理を作った70才位の老人が1人元気ですので、この方の生存中に、一度復現しまして試食会を催しましたら面白いではないでしょうか。

なおこの筧酒料理本膳の一種ですが、海鼠腸桶(こわだおけ)というものがあります。

これは径6糎位の小さな檜の薄板で作った曲物に盛り付けるものですが、この曲物もなかなか手のこんだ芸術的な民芸品ともいえるものですが、もうこういつた曲物を作る職人の方も、鶴岡に1人しか生存していないこともおいしいことです。

〇一人一筆

夏 ツ 子

早坂源四郎

8月生れは夏ツ子である。そのせいか暑さには割合抵抗力があつた様である。子供の頃暑いと云うと、年寄りから夏が涼しかつたらお百姓さんが大へんな事になると訓へられた。都会育ちの子供には余りピンと来ない。小学校の頃近くの公園に蟬取りに好く出かけた昼飯抜きで活躍して家に帰つたら親仁が十日余りの病床で暑いのに遊び歩くと云つて、ひどく母から叱られた記憶がある。

学生時代友人達と一夏鎌倉の材木座で自炊生活をした事がある。小遣いが無くなつて御飯に塩をかけ番茶で茶漬けた味が忘れられないのも妙だ。1年志願の兵隊で富士の裾野の演習に行つた。落陽に映える富士を眺めて、草原の酒保で冷奴と地酒の白雪で一杯やつた折、昼間の猛訓練の疲れも忽ち癒えて朱に真紅に輝く富士の威容が強く浮ぶ。確か8月上旬頃と思う。

会社員時代は外交販売で歩きが多かつた。真夏の

日盛り、丸の内から日比谷へ、公園を半周したら全身汗びつしよりで、一休みしたくなつたがその儘歩き続けて警視庁の前に出て、ふと目に付いたのが司法省の赤煉瓦の建物だつた。真夏の太陽から薄暗いドームの中に飛び込んで冷房室の様な冷気を感じた。その折初めて会つた巢鴨の刑務所長から冷凍機の注文を貰つたのが会社に入つて最初の商売だつた。昭和6年頃の矢張り8月のある日の出来事。

戦時中の思い出は重苦しい。夏ツ子の応召は三度共7月で8月は2回共、軍用列車と輸送船に乗せられていた。不思議とその時の暑さを意識せず、躁急の感のみが残る。二度目の時、8月上旬には満州の東部国境に着いていた。真夏と云うに、荒涼たる平原に名も知らぬ草花が咲き秋気爽然と漂い、そぞろ家郷を想ふ。ここ迄書き抜いたら我が半生の履歴になつて了つていた。

さて今年の8月は、東京から三女が孫を2人連れて既に来ている。近々二女も夫婦で訪れて来る。これでは陋屋では眠やか過ぎる。暑さ所ではない。立秋も間近いが矢張り暑さが続く様農家の為祈らねばなるまい。

〇幹事報告

〇会報到着 東京R・C 青森R・C

〇暑中見舞状 旧会員河村秀一郎君より

〇例会日及び例会時間、例会場の変更

山形R・C 8月14日(水)の例会を8月17日(土)午後6時より丸久デパート屋上にて開く。

寒河江R・C 8月22日(木)の例会を午後5時より県立林業指導所庭園にて開催。

男鹿R・C 8月15日(木)の例会は8月17日(土)に又8月22日(木)の例会は公式訪問のため8月24日(土)に夫々変更。

〇ニコニコ箱

多忙なため遅刻して 三井(徹)君

多忙なため早退して 谷口君

〇本日の献立

鱒の味噌漬、ポークソテー、味噌汁(卵、麩、茗荷)